



企業紹介

# 白水化学工業株式会社

高橋満直\*

## 1. 会社概要

名称 白水化学工業株式会社  
設立 昭和22年10月6日  
資本金 1億8,150万円  
代表者 代表取締役会長 泉 正雄  
代表取締役社長 奥野 巖  
役員 取締役 10名, 監査役 2名  
従業員 100名  
所在地  
本社 大阪市北区豊崎3丁目9番7号  
支店・営業所  
東京支店, 大阪営業部, 名古屋営業所  
工場 堺工場(堺市築港新町3丁目)  
研究所(新研究所平成元年10月オープン)  
京都市下京区中堂地南町17番地  
サイエンスセンタービルアネックス  
売上高 180億円(昭和63年9月期)

### 事業内容

- 各種亜鉛華, 亜鉛末の製造販売
- 窯業用白色原料その他窯業用粉末原料の製造販売
- バリウム塩類の製造販売
- ホワイトカーボンの製造販売
- 粉末機能性材料の製造販売
  - (イ) 導電性白色顔料
  - (ロ) 各種金属超微粉末
  - (ハ) 非金属超微粉末
- 有機無機原料製品の試作並びに中間製造受託
- 不動産の売買, 賃貸借及び仲介

### 関連企業

高橋満直 (Mitsunao TAKAHASHI), 白水化学工業株式会社, 研究開発本部, 取締役技術室長, 工学博士, 無機化学及び電気化学



写真1 いずみビル(本社7・8階)

京神倉庫(株), ヘンケル白水(株), 白水興産(株) 白水商事(株), 九州白水(株), 中部粉体工業(株) 京神運送(株), 日本シリカ工業(株), (株)エフシーラボ, けいしんシステムリサーチ(株), けいしんリパティ(株)

## 2. 当社のあゆみ

当社は, 戦前より種々事業活動を行っておりました泉 正雄が, 戦後まもなく(昭和22年) 酸化亜鉛メーカーとして設立, 氏の事業の再出発となった企業であります。

その後, ホワイトカーボン, 窯業用白色顔料, 無機粉末製品等を開発, さらに西独ヘンケル社との提携による工業用アルカリ洗剤, 金属表面処理剤の製造販売(後に両社の関係はさらに親密となり昭和50年に合弁会社ヘンケル白水設立)を行い, 各界の信頼を得ることができる企業に

成長いたしました。

一方、創業者の事業に対する夢は、当社のみ  
の枠に留ることなく、多くの関連企業を設立、  
その事業活動も倉庫・流通・有機化学・不動産  
・システム開発等多岐にわたっています。

今日、我が国は、経済大国といわれるまでに  
経済発展をなすとげました。しかし、反面個々  
の企業にとって、今日ほど先行き不透明な状況  
はかつて経験したことがありません。したがっ  
て企業が永遠の生命を保つには、いま何をなす  
べきかが課題であります。当社としては、かか  
る認識のもとに、全社的な合理化は当然のこと  
として、従来の素材産業からの脱皮を計るべく  
新製品の開発に力を注いでおります。そのため  
に、後でご紹介します新研究所を設置し、研究  
開発の充実に努め新たなる飛躍を期しており  
ます。

### 3. 商品の紹介

#### (1) 当社製品 (用途)

- 酸化亜鉛  
(加硫促進剤, 亜鉛塩類原料, 電子材料等)
- 亜鉛末  
(防錆塗料, 還元剤等)
- ミクロパックス・ジルコシルージルコン粉  
末——  
(釉薬・フリット, 陶磁器乳濁剤, 耐火煉瓦  
等)
- バリコ (簾性重晶石粉末)  
(重量附与剤, パテ等)

#### (2) 関連会社製品並び取扱商品

- ホワイトカーボン—日本シリカ工業(株)—  
(ゴム補強充填剤, 凝集防止剤, 艶消剤等)
- 炭酸バリウム—パライト工業(株)—  
(フェライト, 各種ガラス, コンデンサー等)
- 塩化バリウム—パライト工業(株)—  
(レーキ顔料, 脱硫酸根剤, 塩浴剤等)
- 酸化チタン—石原産業(株)—  
(顔料, コンデンサー, 圧電素子等)

### 4. 新たなる飛躍

企業として、多様化するニーズに応えるため  
には、弛まざる研究開発が欠かせません。当社

としては、30有余年にわたる粉体技術を活かし  
て、ファインケミカル分野への進出、また新た  
なる分野への躍進をめざして、次のことに取  
り組んでいます。

- 研究開発業務の受託 (各種有機合成反応・  
精溜・分離等)
- 試験生産の受託 (高压反応, 低温反応, 精  
溜, 分離等)
- アルコキシド等の開発 (各種金属アルコキ  
シド)
- 超微粉末製品の開発 (ニューセラミックス,  
サーメットの原料である400A~1000Aの  
中間的な各種超微粉末)
- 鱗片状金属超微粉末製品の開発 (ハイブリ  
ッドI・C基板, プリント基板用の導伝ペ  
ースト原料)
- 導電性白色顔料の製造 (静電記録紙, 静電  
防止塗料, 現像剤)
- 電子セラミックス用微粉末の開発 (誘電体  
・圧電体・磁性体等)
- アダマンタン誘導体等の開発 (アダマンチ  
ルメタクリレート, アクリレート等)
- バイオテクノロジーに関する研究開発  
(医薬品・化粧品等の中間原料および天然  
有機酸等)

なおこの他に、当社として賃貸ビルを既に東  
京, 京都, 大阪に保有していますが、不動産部  
門の拡充に努めております。

### 5. 新研究所

現在、当社の研究施設は、大阪市城東区と、

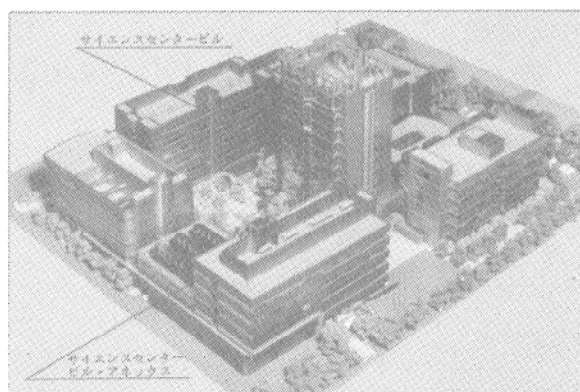


写真2 京都リサーチパーク東地区内「サイエンスセン  
タービル, アネックス」

堺工場内にあります。しかし、今日の科学技術の進歩の早さ、当社の課題であります既存製品の付加価値化、新製品の開発の推進のためには現施設では不十分であり、この抜本的な見直しを進めておりました。

今日の研究開発の状況を考えますと、異業種との交流、他の研究機関との協力が不可欠であります。この観点から場所の選定をいたしました結果、古都京都の大阪ガス跡地に建設が進められている京都市リサーチパーク内「サイエンスセンタービルアネックス」の4階、5階への設置を決定しました。オープンは10月の予定であります。この東地区には京都高度技術研究所、京都市立工業試験所、関西技術研究所をはじめ、多くの民間企業研究所が進出いたしてす。ま

#### 6. 財団法人 泉科学技術振興財団について



図面1 財団マーク

当社の創業者、泉 正雄は、長年各種基礎材料、機能性材料の開発にたずさわって、多くの研究者の研究成果の恩恵を受けて参りました。また、その間研究費の不足に泣く多くの研究者も見参りました。このことから、かねてより、今迄受けたご恩の一端でも公益事業により社会に還元し、科学技術の振興に少しでも寄与したいと念願しておりました。

幸い、会社の業績も順調に進展し、わが国が

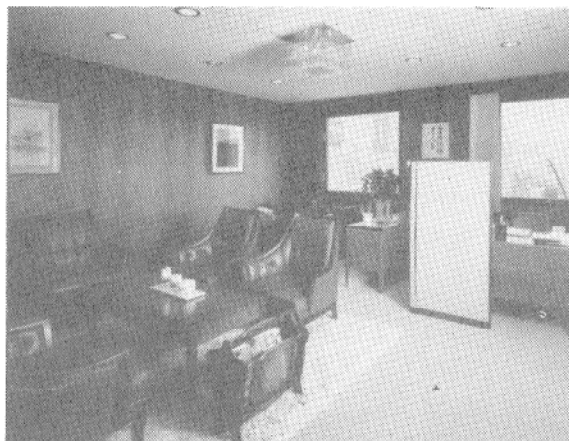


写真3 財団事務所

世界に貢献して行く為には、先験的かつ、独創的な科学技術の研究促進が益々重要な状況にあることに鑑み、当社創立40周年記念事業の一環として、財団法人の設立を決意し、昭和63年12月15日に民法第34条の規定に基づく公益法人として、内閣総理大臣より（主務官庁科学技術庁）設立の許可書の交付を受けました。

当財団は、当社創業者泉 正雄氏と当社の寄付金を基として運営される助成財団で、「高度機能性材料及びこれに関する科学技術の分野における先見的かつ創造的な研究者への助成および国際交流への助成等を行う」ことを目的としています。

#### 7. おわりに

現在は、正に激動の時代であります。当社は国内、国外を問わず、あらゆるビジネスチャンスに果敢にチャレンジし、今こそ飛躍のチャンスと考えています。当社へのご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。